

2015 年度 ノーツコンソーシアム  
ノーツ & コラボ技術研究会  
年間活動レポート

2015 年 12 月 8 日  
ノーツ & コラボ技術研究会

- IBM Notes/Domino を利用いただいているユーザー様やビジネスを展開されているパートナー様と：
  - 1. ESS 製品の特徴を理解してよりよいコラボレーション環境の実現可能性を研究する
    - ・ IBM Connections
    - ・ IBM Sametime
    - ・ IBM Connections Cloud
    - ・ WebSphere Portal
  - 2. ESS 製品の新機能や採用された新技術だけでなく不具合情報なども含めて情報を共有する
  - 3. 日本市場に最適なコラボレーション環境を実現するにあたり不足している機能を洗い出し提言する

# NC スケジュール

日程	内容
4月14日(火)	キックオフミーティング
5月12日(火)	ESS 全製品紹介 & 事例紹介 (ハンズオンの内容決め)
6月9日(火)	IBM Notes/Domino Tips 紹介
7月14日(火)	ESS 製品体験および改善要望の検討 (IBM Connections)
8月11日(火)	ESS 製品体験および改善要望の検討 (IBM Sametime)
9月8日(火)	ESS 製品連携で実現できる新たなコラボ環境の検討
10月13日(火)	ESS 製品連携実証実験 Part 1 (セキュアモバイルアクセス)
11月10日(火)	ESS 製品連携実証実験 Part 2 (セキュアモバイルアクセス)
12月8日(火)	まとめ (レポート作成)
1月12日(火)	発表準備

## 3. ESS 全製品紹介

ESS の Strategy Slide ( INV 202 セッション)

<https://www.socialbizug.org/communities/service/html/communitystart?communityUuid=a4596d81-d98b-42e7-b4de-ac2d59d1ff01>

IBM Verse 、および以下のIBM製品に関する説明

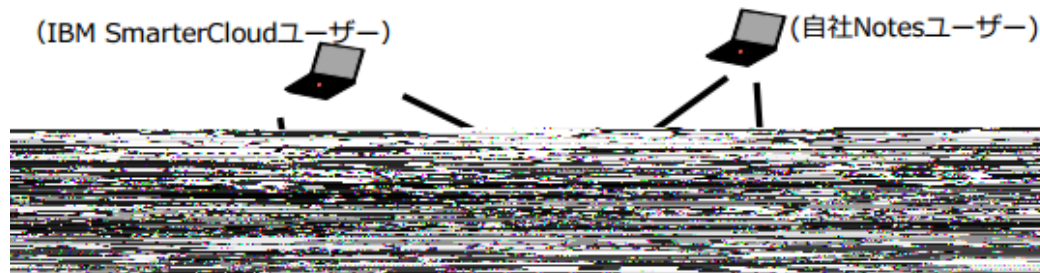
- SmartCloud Notes
- Notes Browser Plug-in
- Application Development
- Archive Essentials
- Notes/Domino
- Social
- Social - Desktop
- Meetings
- Chat

「IBM SmarterCloud Notes 検討ガイド」資料による説明

皆さん気になっているトピックなのか  
参加者からは様々な質問が出ました

- 現行のオンプレのバージョンアップについて  
⇒前提バージョンにアップグレードが必要
- ライセンスは？  
⇒追加構築のパススルーサーバーは不要
- 小規模だと負担が大きいのでは？  
⇒一般的にはその通り
- FormwaveやSametimeがあった場合は？  
⇒通常はオンプレで構築
- SCNでの、メール配信トポロジーは？  
⇒メールハブサーバー経由で通信
- SCNでの監査について  
⇒archive essential機能を使って実現
- 国内実績は？  
⇒あり
- SCNを選択する決め手は？  
⇒メール運用負荷, メールDBサイズなど
- メールテンプレートのカスタマイズは？  
⇒多少は可能
- Domino ディレクトリのカスタマイズは？  
⇒不可能

## ハイブリッド構成



- A notes.ini Tips
- B サイダーと XPages
- C ID Vault と共有ログイン  
- ID Vault と共有ログインに関するトラブル・対応方法の Tips
- D Live Text  
- 過去のデータが簡単に再度有効活用が出来る
- E 管理クライアントとサーバーコンソール
- F iNotes  
- iNotes 9 は幸せになれます

実体験に基づいた話なので、  
どの Tips もとても興味深い  
内容でした！

# NC 製品体験ハンズオン – Connections (7月)

---

## ■ IBM Connectionsの説明とハンズオン

### ■ プラグイン 3種類の紹介

#### (1) Firefox プラグイン

名前: IBM Connections toolbar for Firefox

#### (2) Desktop プラグイン

IBM Desktop File の同期機能で Dropbox と同様に自動的に同期がとられる  
ドラッグ & ドロップで Connections のファイルを Windows のファイルのように扱える

#### (3) Notes プラグイン

IBM Connections plug-in for IBM Notes

自分がConnectionsに格納しているものをNotesから見れるようになる

### Plugin情報

<https://greenhouse.lotus.com/plugins/plugincatalog.nsf/assetDetails.xsp?action=openDocument&documentId=C1245802A721A20185257A9B005EFD52>

# NC 製品体験ハンズオン – Sametime (8月)

---

## ■ Sametime について

1. 機能は大きく分けて2つ。「チャット・在席確認」「Web 会議」
2. クライアントは2種類。「Web 版」「クライアント版」

## ■ Web 版とクライアント版の違い

1. チャット履歴を有効にできる (Web版では自身で履歴をコピーする必要がある)
2. 地理的ロケーションの設定 (IPを見て自動的に切り替え)
3. グループチャット (過去の履歴を見せることができる)
4. ボイス・ビデオ
5. 画面キャプチャーの送信 (ちょっとしたレタッチ機能あり)
6. 文字装飾が可能 (自分の発言の色を変える)

## ■ チャットの操作実習

## ■ Web 会議 (IBM Sametime online meeting) の操作実習

## ■ IBM 社内での使い方の紹介



# NC 課題の持ち寄り (9月)

## ■今年後半の予定

1. 既存顧客の課題を持ち寄り、発表
2. 解決策について議論
3. 次回行う具体的な案について議論

## ■課題

1. 社内の情報共有をもっと促進したい。社内 SNS について  
→ 導入しただけでは駄目で良い環境が構築されるようなケアが必要
2. データ量の増加に対する悩み。コスト増大・バックアップの長時間化  
→ IBM クラウドサービスへ移行するのもひとつの案である。(メール50GB)  
その際、既存メールデータの移行が問題となる(費用と移行にかかる時間)
3. 社外からのアクセス(スマートフォンでの閲覧、関係会社の情報共有、外部へのデータ公開)  
→ 解決案1: Traveler、iNotes ウルトラライトモードやカチャットの利用  
→ 解決案2: シンクライアントを使って社外からノートクライアントを利用  
→ 解決案3: 今後のウルトラライトモードの機能向上、フルブラウザモードの iPhone, iPad への対応を期待  
→ ブラウザからの利用となるので既存アプリの Web 化が課題
4. スタンダードモードだとサイドバーがローミングされない

# 前頁課題3 解決のための 実証実験

## 実証実験の目的

Domino を利用して外部からのアクセスを可能にするセキュアな構成を検討し実証実験を行うことになりました。

Dominoを外向け、Mobile、お客様向けサービスに利用している事例として、ジャンボフェリー様、リコー様のMobile Gatewayなどがあります。

このように外からアクセス、社内(自社)のデータに安全にアクセスできるシステムを、VPNではなく、Dominoだけの機能で実現できることを実証する目的で実験を行います。

## 検証環境のシステム構成

### (1) 認証

DMZのドミノサーバーにDA(ディレクトリアシスタント)を配置すると共にオンプレのドミノサーバーのアドレス帳を2次アドレス帳として定義する。これにより、DMZにドミノディレクトリ等の個人情報を一切置くことなく、かつ認証を行うことができることを確認する。

### (2) XPagesによるオンプレに存在する自社データの公開

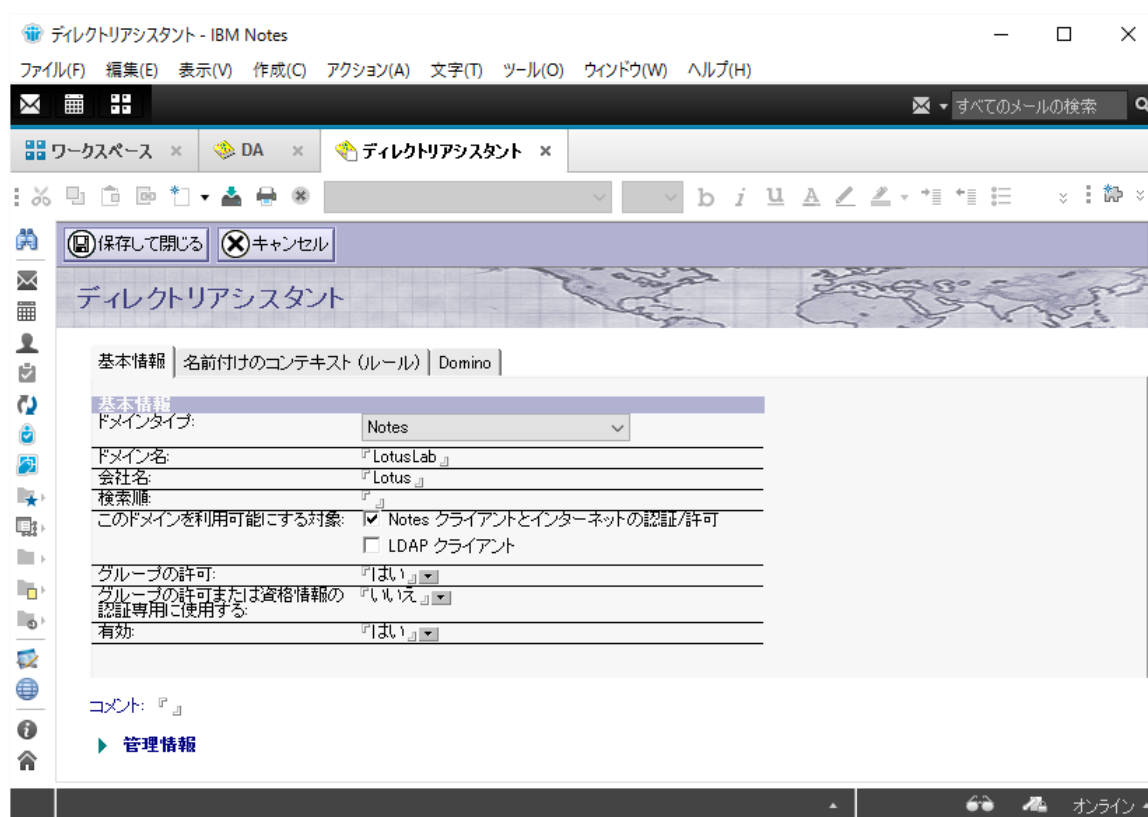
DMZに配置されたXPagesアプリケーションからオンプレの社内DBの情報をデータソースとして定義し、社外から参照することができることを確認する。

DMZ側に配置されたXWorkServerの新しい利用方法を提案できる(利用DB数でのカウントの制限を回避できる?)ことになる。

## システム構成図

# 設定例

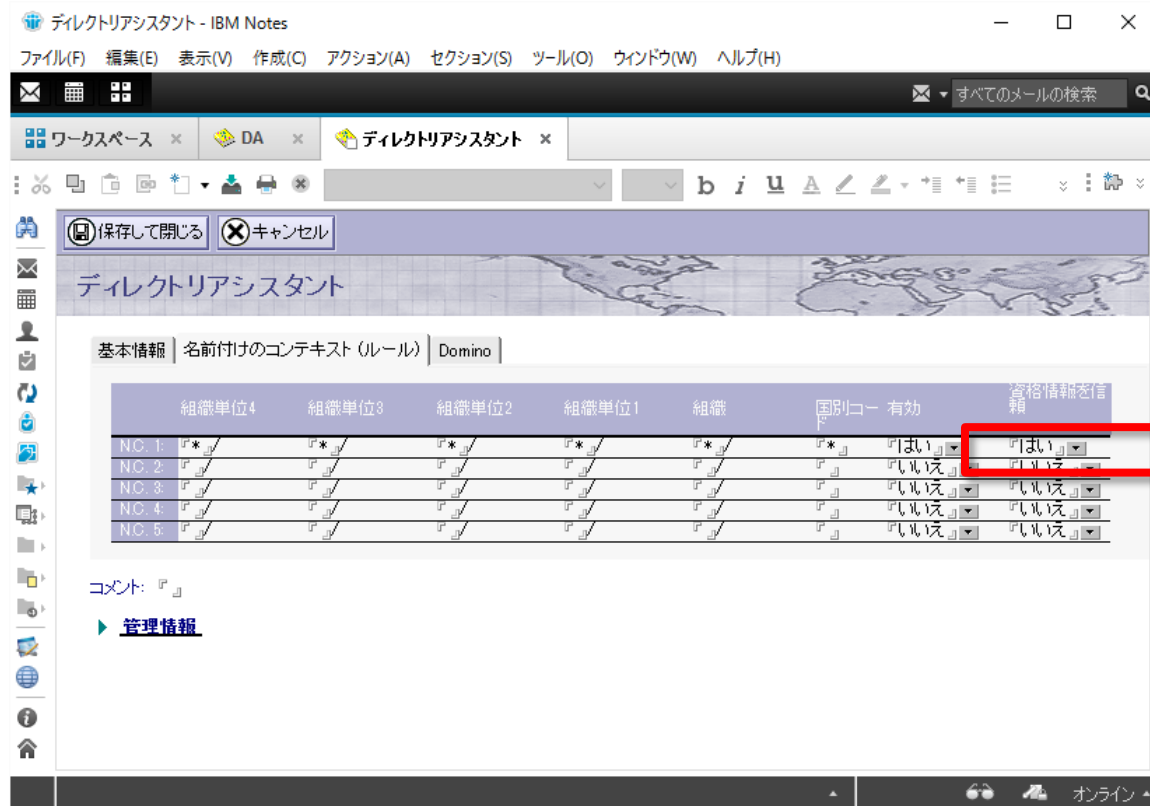
# (GW側) ディレクトリアシスタント設定



## ディレクトリアシスタントDBの新規作成

GW側サーバー

# (GW側) ディレクトリアシスタント設定

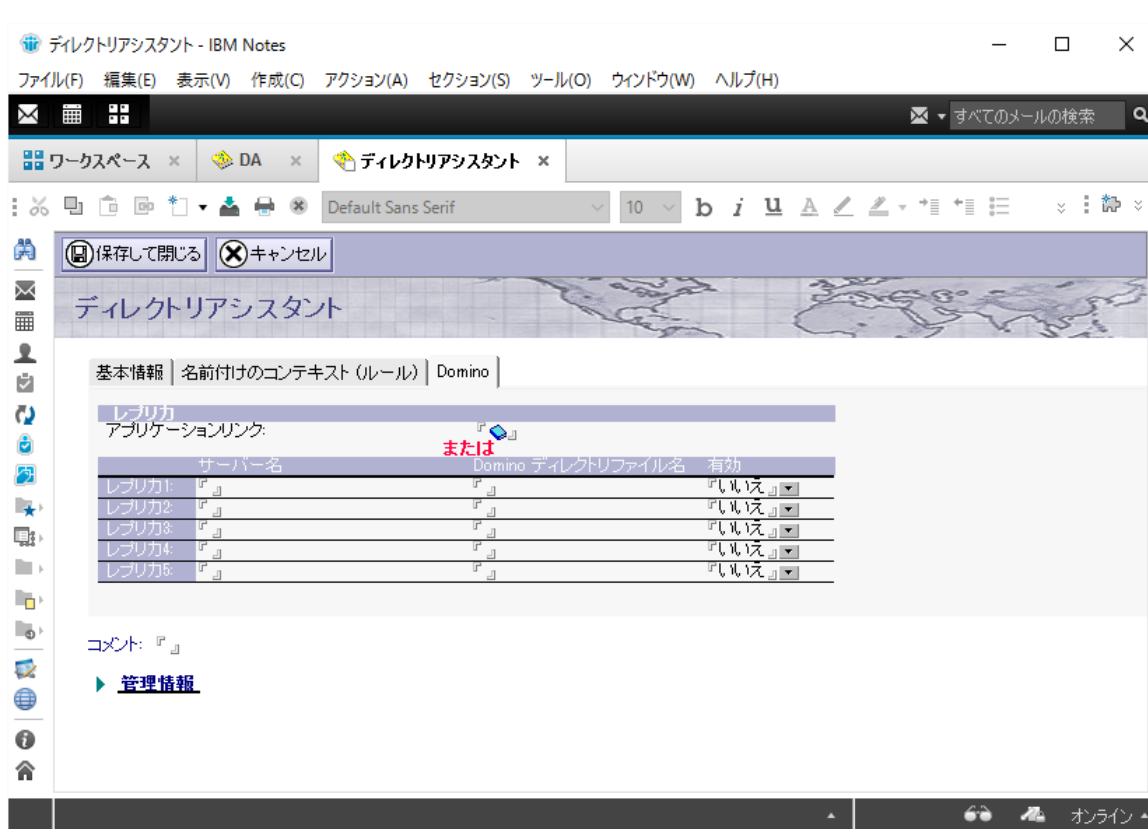


## 資格情報を信頼

「はい」に設定

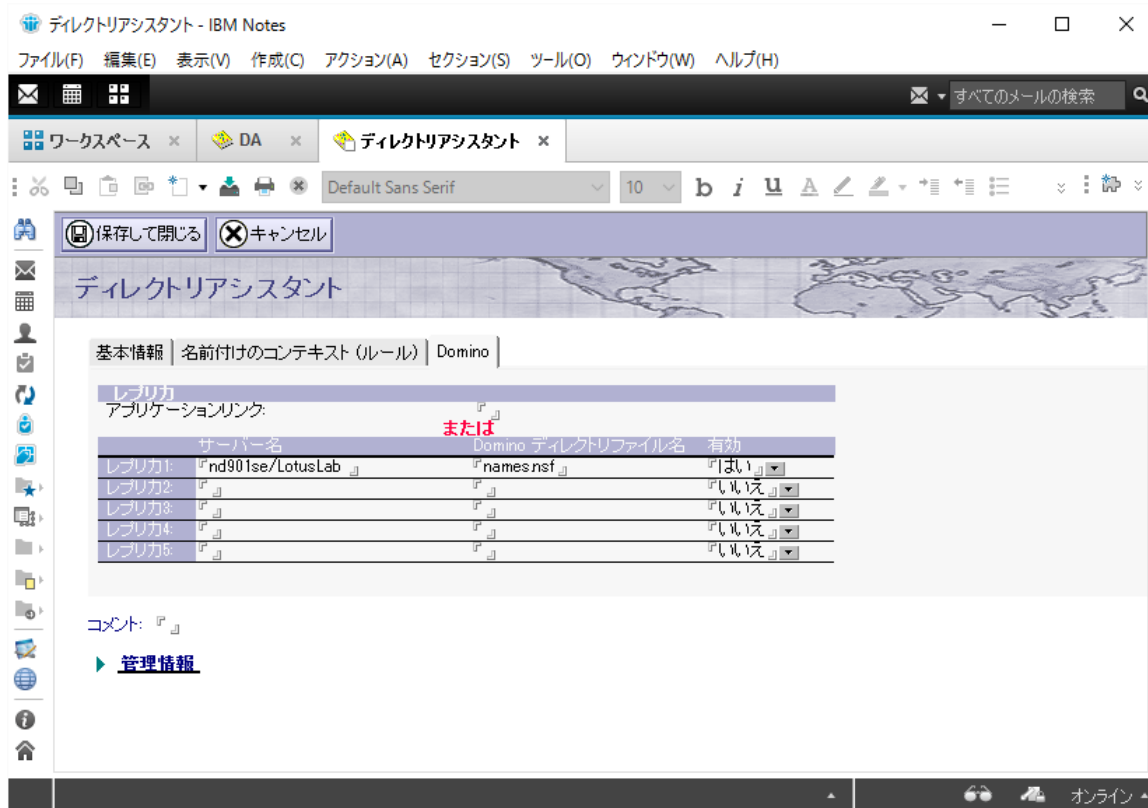


# (GW側) ディレクトリアシスタント設定



## オンプレ側のドミノディレクトリを指定

DBリンクを使用した例



## オンプレ側のドミノディレクトリを指定

サーバー名、ファイル名を指定

GWからオンプレ側への接続文書は別途作成のこと

The screenshot shows the IBM Notes configuration interface for a server named 'nd901/LotusLab'. The '信頼できるサーバー' (Trusted Servers) section is highlighted with a red box, showing a list of servers with 'gw/lotusegw' selected. An inset window shows an 'HTTP 500 エラー' (HTTP 500 Error) message from Microsoft Edge, stating 'ページが見つかりません' (Page not found) and providing a link to '直前のページに戻る' (Return to the previous page).

## 信頼できるサーバー

HTTP500エラーが出てページがオンプレ側データソースを含むページが表示できない場合

オンプレ側のサーバー文書にGW側サーバー名を記載

# 評価結果

## 評価項目の概要

1. XPagesのデータソース分離機能でセキュアアクセスができるか
2. グループを利用した際のログインやACLの機能性
3. ACLにおけるロールが機能するか
4. アプリ側とデータソース側とのACLの動作は？
5. XPagesのメール送信シンプルアクションが動作するか
6. データソースを外だしすることによるパフォーマンスの低下は
7. 外部からパスワード変更は機能するか
8. ACLの設定で書き込み権限や読み込み権限は、きちんと制御できるか

1. XPagesのデータソース分離機能でセキュアアクセスができるか

GW管理者のアカウントでログインできず、オンプレの管理者アカウントでログインできることを確認

2. グループを利用した際のログインやACLの機能性
3. ACLにおけるロールが機能するか
4. アプリ側とデータソース側とのACLの動作は？

GWDBのACLは、XPagesを表示できる権限を設定すればよく読者以上の権限があればよい。

オンプレDBのACLは、DBの権限を設定する。

読者フィールドによる文書のアクセス制御も機能する。

ロールは検証できなかったが、同様に機能すると推測する。

オンプレDBの権限	GWDBの権限	アクセス可否
権限なし	権限なし	GWで認証エラー
権限なし	グループに権限付与	オンプレでアクセス権エラー
グループに権限付与	グループに権限付与	アクセス可

## 5. XPagesのメール送信シンプルアクションが動作するか

GWサーバー側にメール文書が作成されるのでメール配信の設定がされていないとオンプレ側サーバーにメールが配信されない。



6. データソースを外だしすることによるパフォーマンスの低下  
環境の不備により検証ができなかった。来年度に持ち越し。

## 7. 外部からのインターネットパスワード変更方法

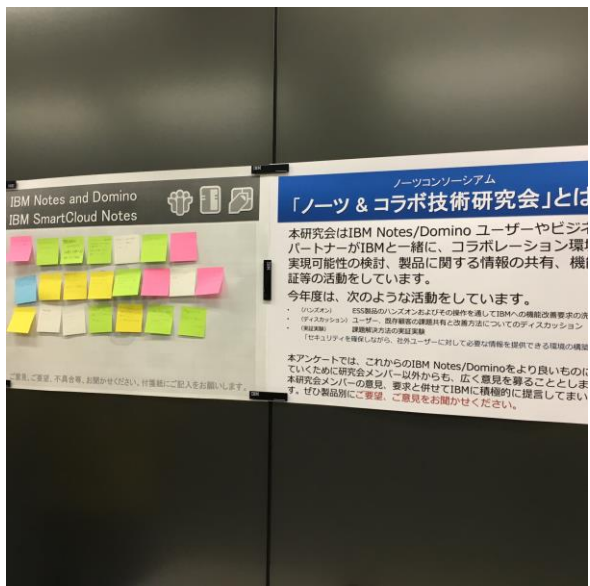
評価項目	Web Query Save	XPages+Form	スケジュールエージェント	新規メールを受信する前エージェント
即時性	○	○	エージェントの実行間隔に依存	エージェントがトリガーされるまでの若干の遅延が発生
競合文書や文書の破損の可能性	直接ユーザー文書进行操作するリスク	直接ユーザー文書进行操作するリスク	エージェントマネージャの信頼性	Router タスクの処理能力に依存
実績	サンドボックスにサンプルが存在	要調査	OpenNTF や qA9 で実装されている	要調査
実装が容易か	Lotus Script	XPages	Lotus Script	Lotus Script
UI	レガシーWeb XPages	XPages	なんでもよい	Webとメール
変更ロジックの実行場所	ゲートウェイサーバー	ゲートウェイサーバー	内部サーバー	内部サーバー

8. ACLの設定で書き込み権限や読み込み権限は、きちんと制御できるか

オンプレDBの権限	GWDBの権限	アクセス可能な操作
作成者・削除権限	作成者・削除権限	表示・作成・編集・削除
作成者・削除	読者	表示・作成・編集・削除
読者	読者	表示・×・×・×

# NC 製品改善要望の提出

- ノーツコンソーシアムポスターセッションへの参加
  - Notes/Domino/Sametime/Connections/Verseなどに関する製品改善要望を収集
- チームで、製品改善要望を、カテゴリライズ化し、17件の製品改善要望にまとめ
- IBM Connect 2016 にて、製品開発担当にフィードバック



- ICS製品の最新情報を共有した
  - Connectフィードバック
  - Hint& Tips 持ち寄り(来年もやりたいですね！)
  - Hands on (Green houseを利用)
- 現行課題を解決するフレームワークの検討
- 実証実験の実施
- ノーツコンソーシアムオープンセミナーにポスターセッションで参加
  - 製品に対する改善要望のまとめおよび提出

- ICS製品の最新情報を共有した
  - Connectフィードバック
  - Hint& Tips 持ち寄り(来年もやりたいですね！)
  - Hands on (Green houseを利用)
- 現行課題を解決するフレームワークの検討
- 実証実験の実施
- ノーツコンソーシアムオープンセミナーにポスターセッションで参加
  - 製品に対する改善要望のまとめおよび提出